

第 2 回 東播海岸の管理に関する検討会 議事概要

開催日時：2010年9月16日(木) 10:00~12:00

場 所：サンピア明石 5階 フロイデホール

参加者数：委員9名、一般傍聴者13名

議事概要

第1回検討会審議概要の報告

事務局より第1回検討会の議事概要について報告。

直轄海岸の管理事例について

事務局より資料に基づき管理事例について説明

他海岸の巡視について巡視回数についての設定基準（海岸延長・海岸の利用方法の違い・地形等）や経緯等があれば確認する必要があるのでは。

データをきめ細かく見ると、東播海岸の護岸の巡視頻度は他の海岸と比べ薄くなっていない

継続監視箇所の事例について

事務局より資料に基づき事例について報告(説明)

人工養浜や自然海浜、暗渠等の埋設管が存在する養浜などが異常箇所の発生要因となるかを他海岸の状況と比較し整理する。（他海岸ではどのような構造形式の養浜（人工養浜や自然海浜、延長、暗渠等の埋設管の有無等）に対してどの程度の頻度で巡視が行われているのか、また、現状に至った経緯を確認し、東播海岸との比較を行う。）東播海岸において暗渠等の改修が終わっているのであれば、他海岸並みの点検頻度や手法にしても良いのではないかと。

養浜の異常箇所については、資料に記載の内容（鉄筋貫入110cm等）だけでは誤解の生じる可能性があるため、現場における点検の実施状況等の詳細を記載する必要がある。

今後は、利用者に被害を及ぼすような異常箇所を見逃さないための点検方法を考えてはどうか。

海岸保全施設の整備経緯等について

事務局より資料に基づき整備経緯等について報告(説明)

東播海岸においてCCTVの設置目的、設置場所の選定理由を明確にした方が良いのではないかと。

施設の老朽化だけでなく、一般の利用者が居ることを前提とした管理が必要である。土木学会の提言（「海岸施設の利用者の安全性に関する提言（H16.2）」等を参考にしてぜひ検討して欲しい。

施設の利用状況・目的、地形条件、施設の施工時期等で比較整理し、管理について検討してはどうか。

その他

東播海岸における定期的な測量（深浅測量）の方法や頻度に関する質問に対して説明を行った。

第3回の検討会では現地状況、巡視点検内容等の現地視察も行う（2ヶ月後を目途に調整）。